

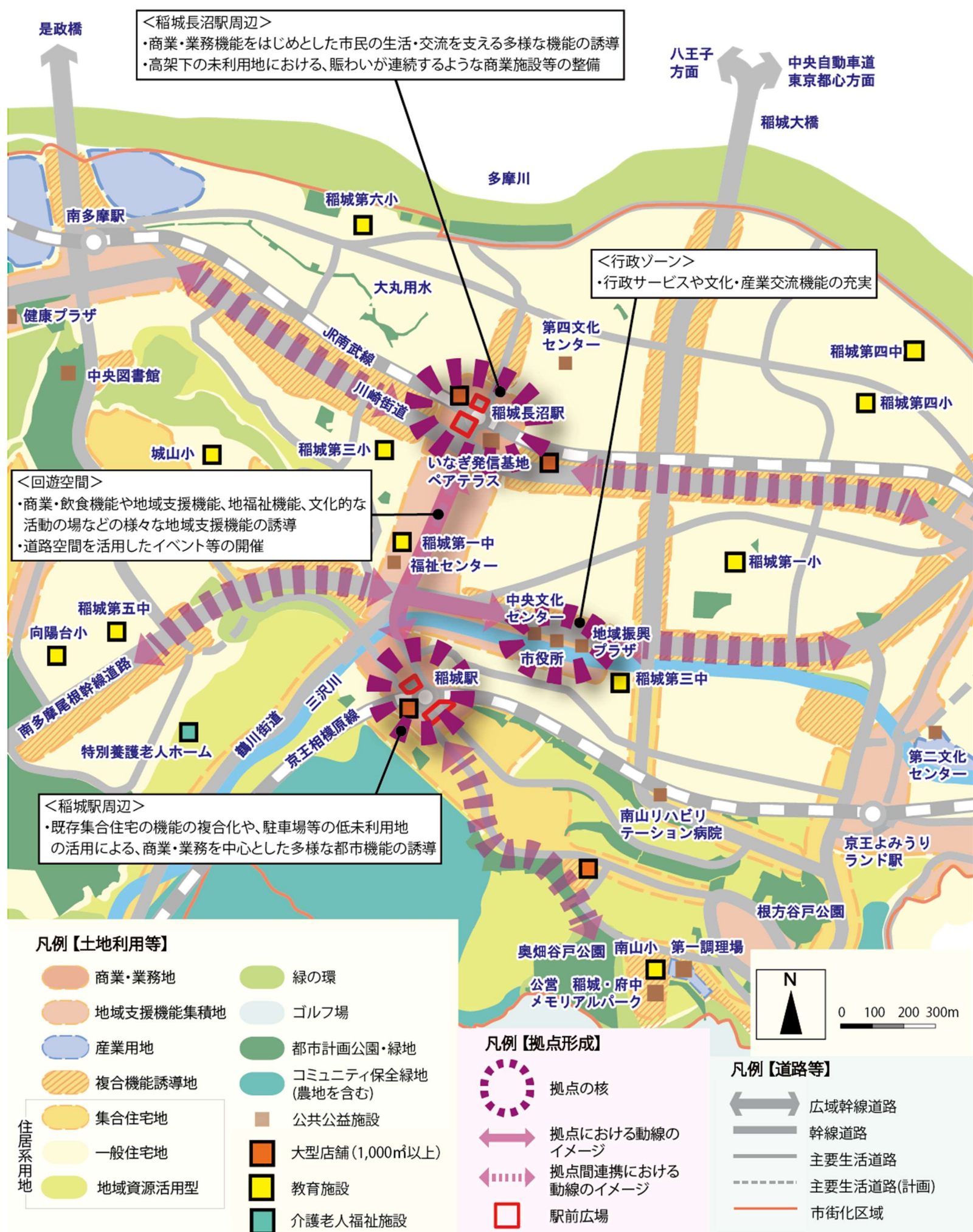
中心地区（活力創造拠点） （稲城長沼駅周辺地区、稲城駅周辺地区、行政ゾーン）

～稲城市都市計画マスタープラン策定に向けて～

『稲城市の「顔」として、人々が行き交う活力ある拠点』

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

- 稲城長沼駅・稲城駅周辺では、利用しやすい駅前広場が整備され、駅前広場の周辺や高架下に飲食店や生活サービス施設などが立地しています。近隣の方はもちろん、他の地区からも鉄道・バス、シェアサイクルなど様々なモビリティを使い、多くの人が訪れることで賑わっています。
- 行政ゾーンの公共施設では、文化活動や地域活動の拠点として、市民がのびのびと利用しています。また、様々な作業や打ち合わせのためのスペース等が充実し、多様な人々が交流できるサードプレイスとして開放されています。
- 稲城長沼駅と稲城駅を結ぶ道路や南多摩尾根幹線道路は、安全で歩きやすい歩道が整備され、三沢川や大丸用水沿いの散策路とあわせて、散歩やジョギングなどで利用され、多くの人が行き交っています。これらの沿道では、地元で採れた梨やぶどう、野菜などが販売されるとともに、所々に配置された広場空間やベンチなどでは、子育て世代から高齢者まで多様な世代がゆっくりとした時間を過ごしています。



広域連携拠点地区（若葉台地区）、生活拠点（長峰地区）

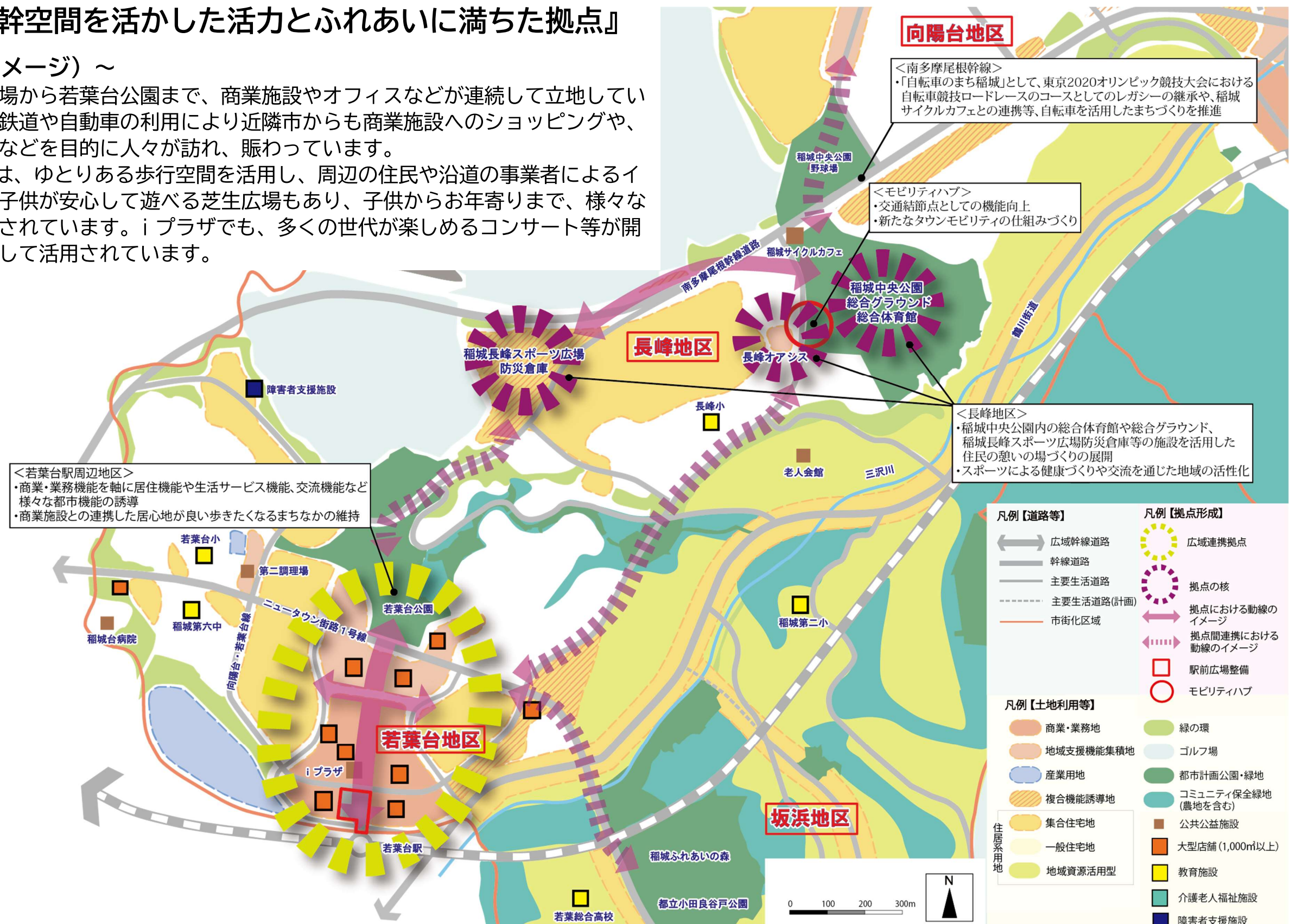
『緑豊かで良好な基幹空間を活かした活力とふれあいに満ちた拠点』

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

■若葉台駅周辺では、駅前広場から若葉台公園まで、商業施設やオフィスなどが連続して立地しています。地元住民をはじめ、鉄道や自動車の利用により近隣市からも商業施設へのショッピングや、若葉台公園でのアウトドアなどを目的に人々が訪れ、賑わっています。

■i プラザふれあいロードでは、ゆとりある歩行空間を活用し、周辺の住民や沿道の事業者によるイベントが行われています。子供が安心して遊べる芝生広場もあり、子供からお年寄りまで、様々な世代が集い、交流が活性化されています。i プラザでも、多くの世代が楽しめるコンサート等が開催され、市民の憩いの場として活用されています。

■若葉台公園や稲城中央公園、稲城長峰スポーツ広場では、多くの市民がライフステージに応じたスポーツ等を気軽に楽しんでおり、公園内ではキッチンカーの出店やイベント等が開催され、子どもから高齢者、市外からの来訪者など多様な人々の交流が生まれています。また、南多摩尾根幹線道路には市外からも多くのサイクリストが訪れ、稲城中央公園内の稲城サイクルカフェを交流・憩いの場として活用されています。



レクリエーション拠点地区（京王よみうりランド駅周辺地区、南山東部地区）

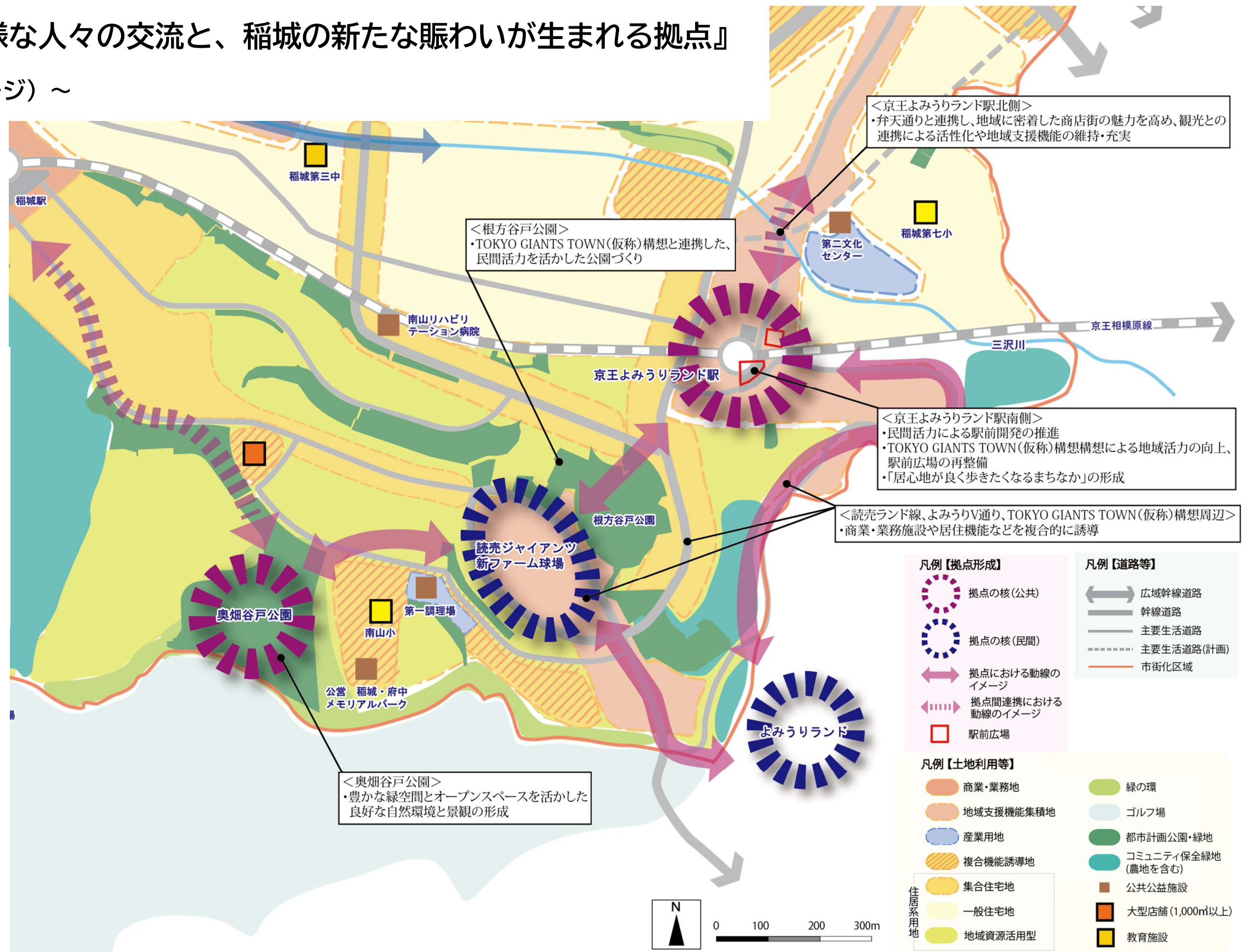
『地域資源を介した多様な人々の交流と、稲城の新たな賑わいが生まれる拠点』

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

■TOKYO GIANTS TOWN（仮称）やよみうりランドなどのレジャー施設が充実しており、その周辺には店舗や飲食店が立地しています。1日中滞在することができ、子どもから高齢者まで、多世代で賑わった場所になっています。

■読売ランド線等の歩道は、沿道の施設や店舗と一体となった空間が整備され、多様な人々が集い、憩うための場所が創出され、「歩きたい、滞在したい」と感じるまちなかが形成されています。また、節々に変化したイベントが行われ、地域住民や来訪者との交流が盛んに行われています。

■奥畑谷戸公園や根方谷戸公園では、子どもから高齢者までの幅広い世代の方々が、自然体験や余暇活動で過ごしています。また、奥畑谷戸公園から南山西部地区にかけては、行政と協働のもと、樹林地ボランティアが保全活動を行い、良好な自然に触れる事ができます。

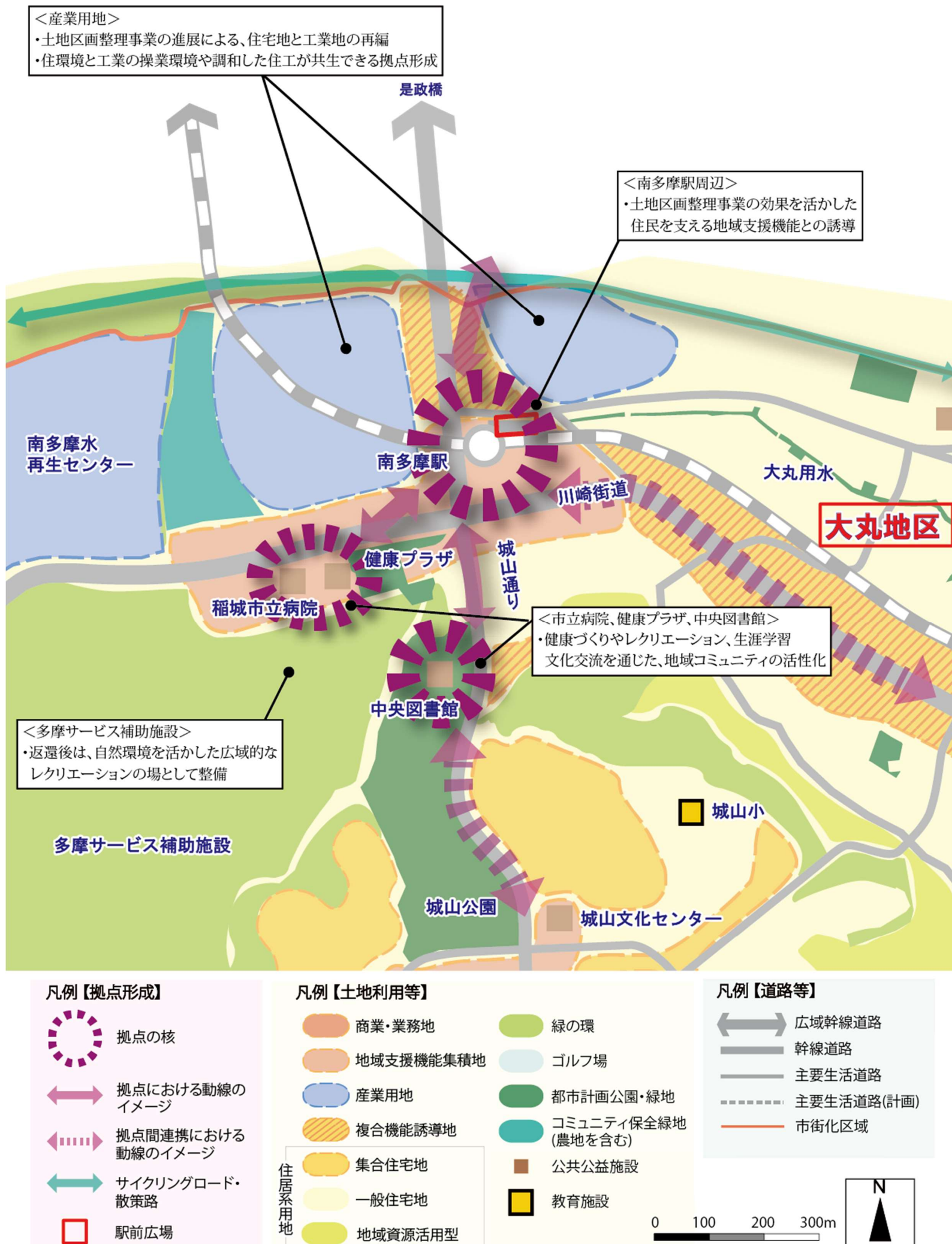


生活拠点（南多摩駅周辺地区、大丸地区）

『豊かな自然環境のもと、健康的に文化交流を育む拠点』

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

- 住宅地と商業地・工場等の形成により、様々な業種の方が訪れています。また、工業地では、後継者支援・技術継承が行われ、市内の雇用や経済の活性化につながっています。多様な業種の方々による交流が生まれた空間となっています。
- 健診センターを有する市立病院や健康プラザでは、様々な健康づくりのイベントが開催され、中央図書館では、読み聞かせなどの子供向けのイベントから映画上映による大人向けのイベントまで開催されています。こうした公共公益施設を活用し、多くの世代の方が交流し、各々の余暇活動・趣味を楽しんでいます。
- 多摩サービス補助施設や多摩川・大丸用水を活用し、多くの世代の方々が、散策などによる環境学習、自然観察、昆虫植物の採取などを行っています。

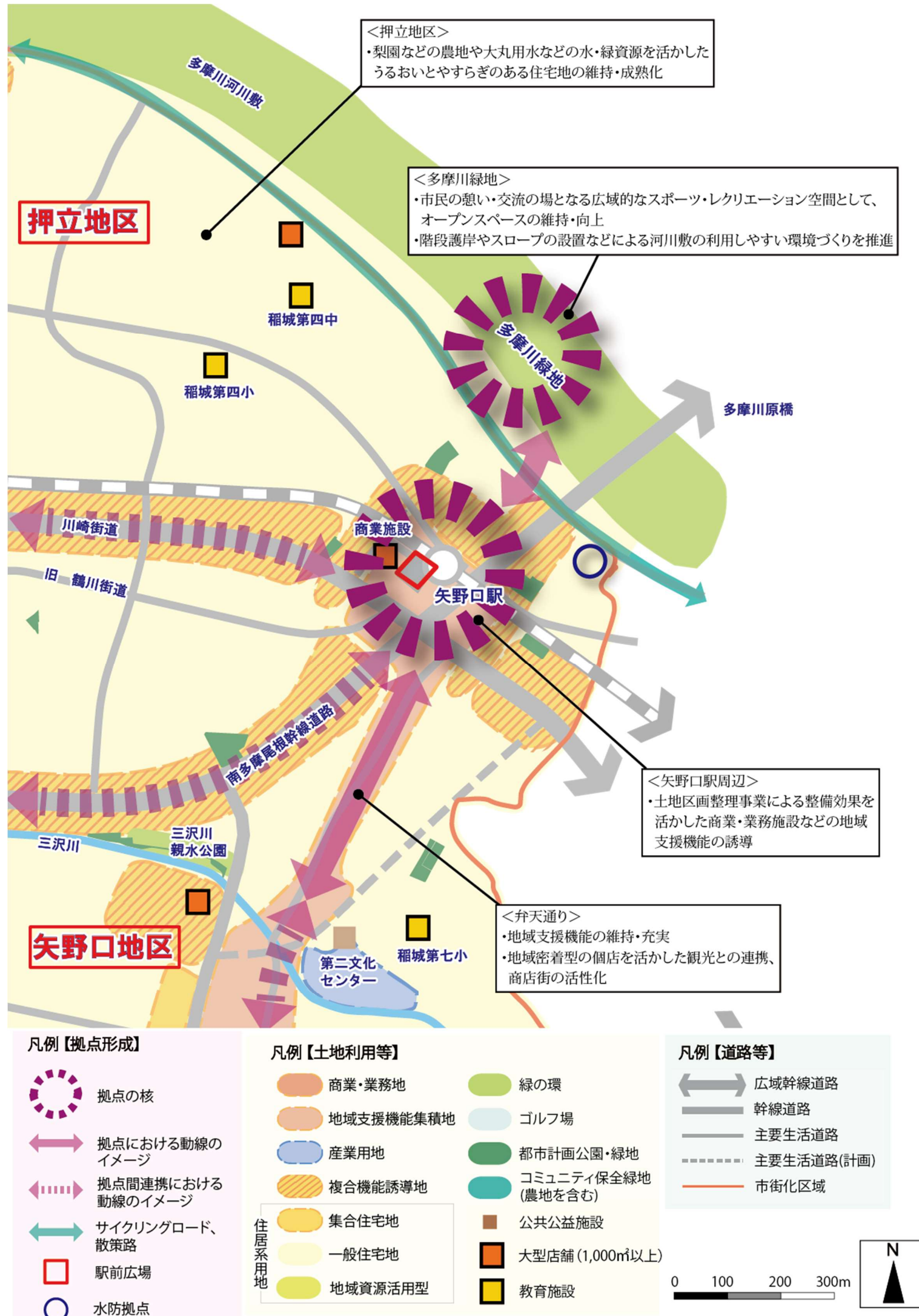


生活拠点（矢野口駅周辺地区、押立地区）

『水・緑資源と商店街を活かしたやすらぎとふれあいのある拠点』

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

- 多摩川原橋から市内に入る「玄関口」として、充実した店舗・飲食店等が立ち並んでいます。弁天通り商店街には、市外からも人が訪れ、昔を懐かしむ雰囲気が味わえます。
- 多摩川緑地は、散歩やサイクリングで多くの世代の方が利用しています。また、野球グラウンドやシクロクロス自転車競技の大会などにも活用され、多様な人々が集う空間として利用されています。
- 押立地区は、農地や大丸用水が維持され、ファミリー農園等を通じて、地域のコミュニティが形成されています。また、観光農園や農業体験の場が展開され、子育て世代をはじめ、多様な人々の交流が生まれています。



生活拠点（向陽台地区、百村地区）

『緑につつまれた便利で快適な住宅地での多様な世代の生活を支える拠点』

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

- 地区の拠点である城山文化センターでは、親子で楽しめるイベントなどが開催され、地域の方々の交流が生まれています。また、地区内では高低差に配慮した新たな交通システムが導入され、高齢者等も安心して外出できる環境が整い、拠点の交通結節点を介して、市立病院や市役所などの主要施設をはじめとした拠点内外の移動が容易となっています。
- 集合住宅の建替えや大規模改修などの住宅の更新、住み替えの促進などにより、新築・中古住宅の取引が活発化し、若い世代が転入してきています。また、高齢者に対して、福祉施策との連携により、社会参加が進み、住み慣れた地域で暮らし続ける事が出来る様になり、子どもから高齢者まで、多様な世代が地域交流のもと、自分らしい暮らしを実現させています。
- 城山公園における定期的な地域の方々によるイベントの開催やキッチンカーの出店、向陽台公園通り沿道における新しい店舗や生活サービス施設の立地などにより、緑の多い環境のなか、歩いて楽しい、賑わいのある通りとなっています。



生活拠点（平尾地区、坂浜地区）

『新住民と旧住民との交流により、地域の活性化が生まれる拠点』

～ 将来の生活像（生活イメージ）～

■平尾団地（分譲）の建替えによる創出用地には、新たな商業・生活サービス施設などが立地し、既存のセンター地区と共に新たなセンター地区が形成され、平尾近隣公園を介して賑わいが生まれています。もともとお住まいの方々や新たに入居した若い世代、買い物目的に市外から訪れる人などにより、新たな交流が生まれています。

■平尾中央通りでは、歩行空間が歩きやすく改良され、沿道に新たな店舗や生活サービス施設などが展開し、センター地区との回遊により、地域の利便性・魅力が高まっています。

■坂浜地区では、土地区画整理事業による住宅供給により若い世代の転入が増え、民有樹林地や農地などの地域の緑空間では、維持・管理・保全の取り組みを通じて、もともとお住まいの方々と新たに入居された方々による新たなコミュニティが生まれています。

